



2023年度 入学試験要項

海外帰国子女（海外就学経験者）特別選抜入試
社会人特別選抜入試

本学の建学の精神と基本理念、各学部・学科の教育研究上の目的及び3つのポリシーを理解し、本学の学習・教育環境を積極的に活用して、深い知識と幅広い領域の学修を志している意欲に燃えた学生を求めます。

なお、各学部・学科が教育研究上の目的を達成するための基本とされる知識を有することが必要です。

そのためには高等学校での基礎となる教科等の勉学を必要とし、積極的な学習姿勢を堅持していることが大切です。

その上で、皆さんが本学での学生生活を十分理解し、明確な勉学目的と意思を持って入学されることを期待しています。

■ 建学の精神

「不言実行、あてになる人間」

■ 基本理念

中部大学は、「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献します。

■ 学部教育の目的

本学の教育上の使命に沿い、それぞれの専門分野の基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、そして自ら学び続ける能力を身につけた、専門職業人／有識社会人となる人間を世に送り出します。

■ 3つのポリシー

各学科のディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）は本学WEBサイトで公表しています。

ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する基本的な方針

カリキュラム・ポリシー：教育の実施に関する基本的な方針

アドミッション・ポリシー：DP・CPに沿った学生募集の方針と入学者選抜の方法

各学科における3つのポリシー <https://www.chubu.ac.jp/about/facts-figures/study/3policy/>

入学試験要項について

中部大学入学試験の出願は、インターネットを利用します。この「入学試験要項」には、入学試験の概要と出願から入学手続までの事項を掲載しています。「入学試験要項」を熟読して内容を理解し、出願期間内に必要書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や不備がある場合、出願は無効となります。詳細は**3インターネット出願**を確認してください。また、入学試験等についてのお問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行ってください。

個人情報の取り扱いについて

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、

- (1) 入学試験の実施（出願処理・試験の実施等）
- (2) 入学手続

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は、上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者（以下、「委託業者」という）において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対して、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

氏名・住所・電話番号等は悪用されてはならない大切な個人情報です。これらを漏洩した結果、思わぬ深刻な事態に巻き込まれることがあります。自分や友人の個人情報は安易に他人に教えないようにしてください。

中部大学では、お問い合わせがあっても志願者の住所・電話番号などは教えません。また、試験当日、試験場及び駅周辺で合否連絡などを口実に、個人情報を記入させ、その場で連絡料などと称して金銭を支払わせていることがあります。中部大学とは一切関係がありません。十分注意してください。

中部大学の合否発表は、インターネットを利用して行います。

不測の事態が発生した場合について

災害等不測の事態が発生したことにより、入学試験の実施等に支障が生じた場合は、本学WEBサイトまたは「**CUhub**」**マイページ**で周知しますので注意してください。

入試に関するお問い合わせ先

中部大学入学センター **TEL (0120) 873-941**

午前9時～午後5時（平日のみ）

「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

サポート窓口 **TEL (0120) 752-257**

○期間 出願期間中（2022年9月1日以降、2022年12月29日～2023年1月3日を除く）

○時間 午前9時～午後8時

出願書類の不備等に関する連絡先 ※出願書類に不備のあった方に本電話番号より連絡します。

中部大学入試事務課 **TEL 0568-51-4715**

○期間 出願期間中（2022年12月27日～2023年1月4日を除く）

○時間 午前9時～午後5時（平日のみ）

試験当日のお問い合わせ先

中部大学代表電話 **TEL (0568) 51-1111**

目 次

1. 募集人員	1
2. 入試日程	2
海外帰国子女（海外就学経験者）	3～4
社会人	5
3. インターネット出願	6～7
4. 出願上の注意	8
5. 受験上の特別な配慮申請について	9
6. CUhub（シーユーハブ）マイページ	10～11
STEP3 出願登録時の注意事項	12
7. 受験票	13
8. 試験当日の注意	14～15
9. 試験場	16
10. 合格発表	17
11. 入学手続	17
12. 2023年度入学者学費等	18
13. アドミッション・ポリシー	19～32
14. 入学検定料の返還	28
入学検定料返還申請書	
追試験受験申請書	

特別選抜入試について

中部大学の特別選抜入試は、今までに修得した学業及び留学経験又は社会経験を基に学習目的を評価し、自己の学修目的を十分認識し自己実現を図ろうとする意欲ある入学者を選抜する制度です。

I 全試験共通

1. 募集人員

学部	学科	募集人員	学部	学科	募集人員
工 学 部	機 械 工 学 科	若干名	生命健康科学部	生 命 医 科 学 科	若干名
	都 市 建 設 工 学 科			保 健 看 護 学 科	
	建 築 学 科			理 学 療 法 学 科	
	応 用 化 学 科			作 業 療 法 学 科	
	情 報 工 学 科			臨 床 工 学 科	
	電気電子システム工学科			スポーツ保健医療学科	
経営情報学部	経 営 総 合 学 科	若干名	現代教育学部	幼 児 教 育 学 科	若干名
国際関係学部	国 際 学 科	若干名		現 代 教 育 学 科	
人 文 学 部	日 本 語 日 本 文 化 学 科	若干名		現 代 教 育 専 攻	
	英 語 英 米 文 化 学 科			中 等 教 育 国 語 数 学 専 攻	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科		理 工 学 部	数 理 ・ 物 理 サ イ エ ン ス 学 科	若干名
	心 理 学 科			A I ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	
	歴 史 地 理 学 科			宇 宙 航 空 学 科	
応用生物学部	応 用 生 物 化 学 科	若干名	※応用生物学部食品栄養科学科は食品栄養科学専攻と管理栄養科学専攻、現代教育学部現代教育学科は現代教育専攻と中等教育国語数学専攻に分けて専攻募集とします。		
	環 境 生 物 科 学 科				
	食 品 栄 養 科 学 科				
	食 品 栄 養 科 学 専 攻				
	管 理 栄 養 科 学 専 攻				

2. 入試日程および時間割

試 験	試 験 日	出 願 期 間 (消印有効)	合 格 発 表 日
10月試験	2022年10月15日(土)	2022年8月30日(火)～2022年9月6日(火) 【入学センター持参受付】 2022年9月7日(水) 9:30～15:00のみ	2022年10月20日(木)
2月試験	2023年2月5日(日)	2022年11月30日(水)～2022年12月8日(木) 【入学センター持参受付】 2022年12月9日(金) 9:30～15:00のみ	2023年2月17日(金)

〔注意〕

- 最終日翌日の午前9時30分～午後3時に限り、中部大学入学センター窓口で出願書類を受理します。なお、最終日翌日には新規の出願登録は受け付けません。
日本国外から出願する場合は、事前にご相談ください。
- 出願・受験・合否・手続システム「CUhub」^{ニューハブ}のアカウント作成は4月25日(月)午前9時から可能です。出願登録はそれぞれ10月試験は8月30日(火)午前9時から9月6日(火)午後5時の間、2月試験は11月30日(水)午前9時から12月8日(木)午後5時の間に行い、出願期間内に到着するよう郵送してください。出願書類は、出願期間最終日消印有効とします。なお、出願登録期間中は24時間登録が可能です。
- 入学検定料納入期限は、出願登録を行った翌日の23時59分（締切日は当日の23時59分）までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
- 追試験日について
感染症等により受験できない場合、対象となることがあります。詳細は **8** 試験当日の注意 を参照してください。

入学検定料

入学検定料 **35,000円**

納入期限 10月試験：**2022年9月6日(火)** 2月試験：**2022年12月8日(木)**

※別途インターネット出願に関する手数料がかかります。

いったん納入された入学検定料及び出願書類は、返還いたしません。ただし事由によって返還する場合があります。詳細は **14** 入学検定料の返還 を参照してください。

出願書類の確認について

書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。

電話番号**0568-51-4715**からの着信を見逃さないようにしてください。**確認・連絡ができない場合、受験できない**可能性があります。

II 海外帰国子女（海外就学経験者）特別選抜入試

対 象 学 部

【工学部、経営情報学部、人文学部、応用生物学部、生命健康科学部、現代教育学部、理工学部】

出 願 資 格

日本国籍を有し、保護者の海外在留のため外国で2年以上継続して学んだ者で、次のいずれかに該当する者

1. 入学時に帰国後2年未満の者で、国の内外を問わず通常の課程による学校教育12年以上を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
2. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE-Aレベルを保有する者で、前号1に準ずる者
3. その他文部科学省令の定めるところにより、前各号1、2に準ずる者

〔注意〕① 高等学校の課程と同等の課程を有する在外教育施設の当該課程で学んだ者の出願資格は認めます。

② 成績優秀等で、通常の学校教育12年の課程を「飛び級」や「繰り上げ卒業」により、12年に満たずして卒業した者についても出願資格を認めます。

③ 「保護者の海外在留」は本人と保護者の在留期間が1年以上で出願資格を認めます。

④ 出願資格等の相談は、出願に先立って出願開始日の2週間前までに、中部大学入学センターに問い合わせてください。

選 抜 方 法

書類審査、小テスト、小論文（字数制限800字）及び面接試験による総合評価

【小テスト】工学部、理工学部 …… 数学

経営情報学部、人文学部、応用生物学部、生命健康科学部、現代教育学部 …… 英語

時 間 割

9:40 10:00		11:00 11:30		12:30 13:30	
集合		小テスト (100点満点)	休憩	小論文 (3段階評価)	昼食 面接 (3段階評価)

出 願 書 類

1	出願確認票	印刷後、太枠内を記入してください。
2	出身高等学校の卒業（見込）証明書	高等学校の卒業証明書又は卒業見込証明書
3	高等学校全期間の学業成績証明書	高等学校長が作成したものを提出してください。 (日本の高等学校に在籍した期間は調査書で可。) また、国際バカロレア資格等の取得者は、資格証書の写しと最終試験の成績評価証明書も提出してください。
4	外国で2年以上継続して教育を受けたことを証明する書類	出身学校長又は機関の長が作成したものを提出してください。 ただし、上記2、3と重複する場合は、省略可。
5	保護者の海外在留の証明書	保護者の勤務先の海外出張証明書（出張期間が明記されているもの）又は、在外公館の発行する書類（若しくは、これに準ずるもの）を提出してください。

国家試験等の統一試験のある国では、その試験を受験していることが望ましい。すでに受験している場合は、成績評価証明書及び統一試験制度についての公式資料等を提出してください。(科目名・成績評価等が符号・略字等による表示は、その説明書も添付してください。)

〔注意〕出願書類中、日本語以外で書かれた証明書・文書・資料等には、その日本語訳を添付してください。

対象学部

【国際関係学部】

出願資格

日本国籍を有する者、入管法による「永住者」の在留資格を持つ者、または入管特例法による「特別永住者」で、外国で2年以上継続して学び、次のいずれかに該当する者（保護者の海外在留は問わない）

1. 入学時に帰国後2年未満の者で、国の内外を問わず通常の課程による学校教育12年以上を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
 2. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE-Aレベルを保有する者で、前号1に準ずる者
 3. その他文部科学省令の定めるところにより、前各号1、2に準ずる者
- 〔注意〕① 高等学校の課程と同等の課程を有する在外教育施設の当該課程で学んだ者の出願資格は認めます。
② 成績優秀等で、通常の学校教育12年の課程を「飛び級」や「繰り上げ卒業」により、12年に満たずして卒業した者についても出願資格を認めます。
③ あらかじめ、出願資格（外国の教育制度に基づく学校の在学期間について）を確認したい方は、出願に先立って出願開始日の2週間前までに、中部大学入学センターに問い合わせてください。

選抜方法

書類審査、小論文(字数制限800字)、プレゼンテーションの成果及び面接試験による総合評価

【プレゼンテーション】日本語、英語、中国語を出願時に選択し、10分程度のプレゼンテーション（質疑応答を含む）を行います。

時間割 ※集合時間に気をつけてください。他学部と異なります。

11:00 11:30		12:30	13:30
集合		小論文 (3段階評価)	昼食
			国際関係に関する プレゼンテーション および (100点満点)
			面接 (3段階評価)

出願書類

1	出願確認票	印刷後、太枠内を記入してください。
2	出身高等学校の 卒業（見込）証明書	高等学校の卒業証明書又は卒業見込証明書
3	高等学校全期間の 学業成績証明書	高等学校長が作成したものを提出してください。 （日本の高等学校に在籍した期間は調査書で可。） また、国際バカロレア資格等の取得者は、資格証書の写しと 最終試験の成績評価証明書も提出してください。
4	外国で2年以上継続して教育 を受けたことを証明する書類	出身学校長又は機関の長が作成したものを提出してください。 ただし、上記2、3と重複する場合は、省略可。

国家試験等の統一試験のある国では、その試験を受験していることが望ましい。すでに受験している場合は、成績評価証明書及び統一試験制度についての公式資料等を提出してください。（科目名・成績評価等が符号・略字等による表示は、その説明書も添付してください。）

〔注意〕出願書類中、日本語以外で書かれた証明書・文書・資料等には、その日本語訳を添付してください。

社会人特別選抜入試

出 願 資 格

社会経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当する者

1. 2018年3月31日以前に高等学校を卒業した者
2. 2000年4月1日以前に出生した者で、2023年3月31日までに高等学校の定時制若しくは通信制の課程を卒業あるいは卒業見込みの者又は高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）に合格あるいは合格見込みの者
3. 旧制諸学校の卒業者又は中途退学者で、文部科学大臣の定めるところによって大学入学資格のある者
〔注意〕① 高等学校の定時制及び通信制以外の学校の在学期間は、社会人の経験期間に含めません。
② 大学、短期大学、高等専門学校、専門学校等を卒業又は退学した者は、その年から5年以上の社会経験を有すること。
③ 出願資格等の相談は、出願に先立って出願開始日の2週間前までに、中部大学入学センターに問い合わせてください。

選 抜 方 法

書類審査、小テスト、小論文（字数制限800字）及び面接試験による総合評価

【小テスト】…… 英語（全学部）

時 間 割

学 部	9:40	10:00	11:00	11:30	12:30	13:30
全学部	集合		小テスト (100点満点)	休憩	小論文 (3段階評価)	昼 食
						面 接 (3段階評価)

出 願 書 類

※書類及び写真は出願前3ヶ月以内に作成又は発行されたものを使用してください。

1. 出願確認票	印刷後、太枠内を記入してください。
2. 志願理由書	本学所定の用紙に記入してください。
3. 調査書等	(1) 高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書が提出できない場合は、単位取得証明書を提出してください。 (2) 廃校、罹災、その他の事象により調査書が得られない場合は、成績表・成績証明書・その他入学志願者が提出できる書類をもってこれに代えることができます。 (3) 上記の書類をも整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会・知事又は出身学校長が作成したこれらに代わる証明書を提出してください。 (4) 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格者あるいは合格見込み者は、合格（見込）成績証明書を提出してください。
4. 卒業証明書	高等学校長が作成したものを提出してください。 〔注意〕高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格者又はその他の大学入学資格者は、当該出願資格の証明書を提出してください。

〔注意〕改姓などにより、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。

3. インターネット出願

▶ 本学WEB サイトから [インターネット出願ガイダンス](#) に進み、出願に関する手順や注意事項を確認してください。確認後、「マイページ」へ進み、「^{シミュレーション}CUhub」アカウントを作成します。マイページログイン後、以下の手順で出願登録をしてください。画面イメージは **6** ^{シミュレーション}CUhubマイページ で確認してください。

(1) STEP2基本情報を入力

氏名、住所、連絡先、高等学校等の基本情報、写真データを登録します。

(2) STEP3出願登録

入試方式、志願学科・専攻、志願者情報等を登録し、「コンビニエンスストア」、「Pay-easy〈ペイジー〉対応銀行ATM」、「クレジットカード」、「ネットバンキング」のいずれかの方法で入学検定料を支払います。

(3) STEP4出願確認票の出力

出願確認票・宛名ラベルをプリントアウトし、出願書類一式を封入し郵送します。封筒（市販の角2 封筒）は各自で用意してください。

必要書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。
入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

■ インターネット出願のよくある質問

入学検定料納入後に入力ミスに気付いた等、よくある質問については、以下インターネット出願ガイダンス「よくある質問」をご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



■ 出願登録画面の操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中（2022年9月1日以降、2022年12月27日～2023年1月4日を除く）

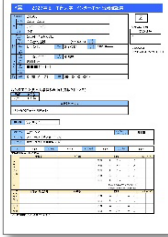
○時間 午前9時～午後8時

①書類一覧

- A. 出願確認票（写真データ）
- B. 宛名ラベル（A 4）・・・・・・・・・・Aと同時に印刷。
- C. 封筒（角2 サイズ）・・・・・・・・・・市販の角 2 封筒（各自でご用意ください）。
- D. 志願理由書（A 4）・・・・・・・・・・本学所定の様式を使用（社会人のみ）。
- E. その他書類

Dについては、本学WEBサイト>入試情報>入学試験要項より様式をダウンロードの上、作成してください。

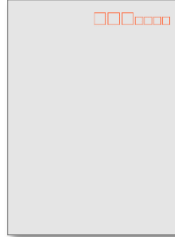
A. 出願確認票
(写真データ)



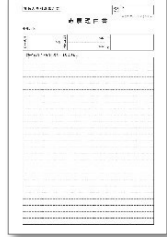
B. 宛名ラベル
(Aと同時に印刷)



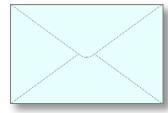
C. 封筒
(角2サイズ)



D. 志願理由書
(社会人のみ)



E. その他



- ・調査書
- ・卒業証明書
- ・成績証明書
- ・保護者の海外在留の証明書等

※図はイメージであり、実際のものと異なる場合があります。

②書類を封入

「封筒（C）」に「宛名ラベル（B）」をのり付けし、「出願確認票（A）」とその他該当する書類を封入します。

③郵送

4 出願上の注意をよく読んだ上で、出願期間内に、**中部大学入学願書受付センターまで郵送（速達・簡易書留）**してください。

必要書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。
入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

4. 出願上の注意

1. 入学検定料の他に、支払手数料が一律で 990 円かかります。
2. 入学検定料払込期限は、**インターネット入力を行った翌日の 23 時 59 分（締切日は当日の 23 時 59 分）まで**です。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
3. 出願期間の**最終日は、入学検定料払込みと郵送手続きの時間を考慮してインターネットによる出願登録を 17 時まで**とします。最終日に入学検定料払込みおよび出願書類の郵送をする場合は、郵便局での取扱時間を確認し、最終日当日の消印に間に合うように、余裕を持って支払い手続きを行ってください。
4. 締切時刻間際になりますとアクセスが集中し、登録ができない状態になることもあります。時間に余裕を持ってお早めに出願申し込みを行ってください。
5. 出願書類に不備・不足等がある場合は受け付けません。出願に際しては十分注意してください。
6. **出願後の志望学科・専攻及び試験方式（試験日を含む）の変更は一切認めません。**
7. いったん納入された入学検定料及び出願書類等は、返還しません。ただし、入学検定料は事由によって返還する場合があります。詳細は **14 入学検定料の返還** を参照してください。
8. 出願書類に虚偽の記載があった場合、また、当然記載されるべき事項の記入がなかった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
9. 受験上の配慮を希望される場合は、各試験の出願に先立って、**出願期間初日の 6 週間前までに、必ず中部大学入学センターへ相談してください。**詳しくは、**5 受験上の特別な配慮申請について** をご確認ください。なお、申請前に中部大学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学されることをお勧めします。
10. 書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号 **0568-51-4715** からの着信を見逃さないようにしてください。**確認・連絡ができない場合、受験できない**可能性があります。

5. 受験上の特別な配慮申請について

病気・負傷や障がい等のために受験上特別な配慮を必要とする場合は、**出願期間初日の6週間前まで**に事前申請を行ってください。複数の入学試験の受験を希望する場合は、初回の入学試験の申請期日までに申請してください。申請に間に合わない場合は、当該入試での配慮提供（支援）ができない場合がありますので、予めご承知おきください。申請内容に基づき、個々の症状や状態、程度に応じて受験上の配慮について検討しますが、場合により、事前面談をお願いすることや、ご希望に添えないこともあります。ただし、事前面談の可否や内容が可否に影響を与えることはありません。

急な病気や怪我のため、受験に際し、配慮が必要となった場合はすみやかに本学入学センターまでご連絡ください。修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。

申請の流れ

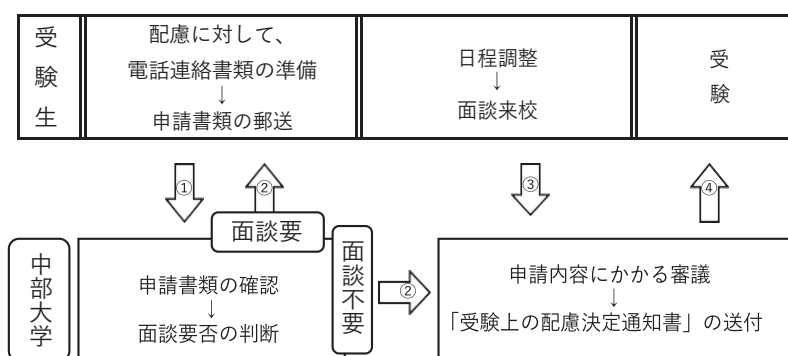
1. 電話による申し込み

- ・ **出願期間初日の6週間前まで**に本学入学センターへ電話にてお問い合わせください。
- ・ 必要に応じて、本学にお越しいただく場合があります。

2. 申請書類の提出

下記①～④の書類を本学入学センターへ提出してください。

- ① 受験上の配慮申請書（本学WEBサイトからダウンロードし、必要事項を記入）
- ② 医師の診断書のコピー（現在の体調および必要な措置に関する医師の見解について、具体的に示されたもの）
- ③ 大学入学共通テスト「受験上の配慮事項審査結果通知書」のコピー（該当者のみ）
- ④ 障害者手帳等の写し（該当者のみ）



3. 配慮事項決定通知について

- ・ 提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を決定し、配慮事項決定通知書を送付いたします。
- ・ 試験当日は、決定通知書を持参してください。
- ・ 決定に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

●お問合せ及び申請書類の送付先

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200
中部大学 入学センター「受験上の配慮申請担当」宛
電話 0568-51-5541
※受付時間 平日：午前9時～午後5時

●修学上の配慮に関するお問い合わせ窓口

修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。
中部大学 学生サポートセンター
電話 0568-51-4478
※受付時間 平日：午前9時～午後5時

6. シューハブ CUhub マイページ

アカウント作成

1. 「ガイダンスページ」へアクセスし、画面右上「マイページ」に進みます。

URL : <https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu>



2. 「マイページを初めてご登録の方」へ進みます。

①メールアドレスを入力。

②1～2 分後に届く確認メールに記載のURL をクリック。

③パスワードを設定します。

④再度マイページTOP 画面に戻り、作成したアカウント（メールアドレス・パスワード）でログインしてください。

※アカウント情報（メールアドレス・パスワード）を忘れないようにしてください。

マイページTOP

メールアドレス登録（初回のみ）

パスワード登録（初回のみ）

マイページメニュー

マイページでは、出願、受験票の発行、合否結果の閲覧、入学手続を行うことができます。以下**STEP 1～4**の手順に従って手続を進めてください。

STEP 1 ガイダンス閲覧・確認

出願方法や入学試験要項を確認し、事前に作成する書類、データを用意します。

STEP 2 基本情報の登録と確認

住所・氏名・出身高等学校等の基本情報を登録してください。基本情報の登録は出願期間外でも可能です。

基本情報の登録完了後、証明写真をアップロードしてください。写真は入学後、学生証等の写真に使用します。アップロードする前に**STEP 1**で写真に必要な要件を確認してください。

STEP 3 出願登録

画面の指示に従って、出願登録を進めてください。出願登録は各入試の出願期間内に行うことができます。出願期間は入学試験要項に掲載しています。内容をよく確認した上で登録を進めてください。

※次ページの注意事項も併せて確認してください。

STEP 4 出願確認・受験票出力

出願確認や、受験票の出力ができます。この画面から出願確認票を出力し、必要書類を同封の上、郵送することで出願が完了します。

合否結果

合否結果を確認することができます。

入学手続

合格通知書、入学金・授業料等の振込用紙の出力ができます。入学手続書類もこちらから作成します。

「CUhub」マイページTOP

The screenshot shows the 'CUhub' My Page Top page. At the top, there's a header with the CUhub logo and a menu icon. Below the header, the page is titled 'マイページメニュー' (My Page Menu). The main content area is divided into four steps, each with a title, description, and a button to proceed.

- STEP1 ガイダンス閲覧・確認**
出願ガイダンスを確認してください。
ガイダンス閲覧・確認
出願手続きの流れやPC・モバイルの推奨環境に関することを確認できます。
ガイダンス確認に進む
- STEP2 基本情報の登録と確認**
個人情報登録をすることができます。
個人情報、証明写真を画面の表示に従って登録して下さい。
※証明写真は、インターネット出願後は変更することができません。
個人情報の登録・編集と確認
出願者の個人情報の登録・編集、確認ができます。
登録・確認に進む
- STEP3 出願登録**
出願登録をします。
出願登録
画面の表示に従って出願に必要な情報を入力し、その内容を登録・確認してください。
出願登録に進む
- STEP4 出願確認・受験票出力**
出願登録した情報を確認できます。
受験票を出力できます。
出願確認・受験票出力
出願登録した情報を確認できます。
受験票を出力できます。
出願確認・受験票出力する

At the bottom, there are four additional links with icons:

- 合否結果
受験済みの合否結果をご案内いたします。
- 入学手続
合格者は必要書類のダウンロード等を行うことができます。
- メールアドレス変更
当サイトログイン用のメールアドレスを変更できます。
- パスワード変更
当サイトログイン用のパスワードを変更できます。

STEP3 出願登録時の注意事項

特別選抜入試に出願される方は、**STEP 3の出願登録**をする際、STEP 2で登録した実際の出身高校にかかわらず、出身高校欄は下記の通り入力（変更）してください。

海外帰国子女（海外就学経験者）の方

- ・「在外教育施設」と入力
- ・または「55000A」と入力し、「在外教育施設」を選択
- ・または「高卒認定試験などの一覧」をクリックし「在外教育施設」を選択

出身高校等	
出身高校	高校名(全角)、または高校コード(半角英数字)を入力し、候補の一覧から選択してください。 ※ 都道府県と設置区分の部分を除いた高校名を入力してください。 例) ○○県立△△高等学校の場合→「△△」 在外教育施設 高校コード:55000A ※該当する高校が表示されない場合は「高校を検索する」から検索してください。 高校を検索する ※ 高等学校卒業程度認定試験、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定および在外教育施設に該当する者は「高卒認定試験などの一覧」から選択してください。 高卒認定試験などの一覧
課程	必須 その他
学科	必須 その他
卒業(見込)年	西暦 2021 年 必須 ※ 高卒認定資格者は取得（見込）年を入力してください。ただし現役の高校3年生と同年齢の場合は卒業年にあわせてください。

社会人の方

- ・「認定」と入力
- ・または「54000F」と入力し、「認定」を選択
- ・または「高卒認定試験などの一覧」をクリックし「認定」を選択

出身高校等	
出身高校	高校名(全角)、または高校コード(半角英数字)を入力し、候補の一覧から選択してください。 ※ 都道府県と設置区分の部分を除いた高校名を入力してください。 例) ○○県立△△高等学校の場合→「△△」 認定 高校コード:54000F ※該当する高校が表示されない場合は「高校を検索する」から検索してください。 高校を検索する ※ 高等学校卒業程度認定試験、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定および在外教育施設に該当する者は「高卒認定試験などの一覧」から選択してください。 高卒認定試験などの一覧
課程	必須 その他
学科	必須 その他
卒業(見込)年	西暦 2021 年 必須 ※ 高卒認定資格者は取得（見込）年を入力してください。ただし現役の高校3年生と同年齢の場合は卒業年にあわせてください。

7. 受験票

受験票は「**CUhub**」マイページから「STEP 4 出願確認・受験票出力」に進み、ダウンロード・プリントアウトし、試験当日持参してください。**受験票の郵送は行いません。なお、出願手続に不備があった場合は、その事後処理が終わるまで受験票の発行はできません。**

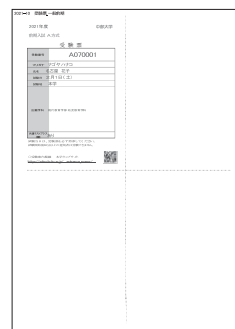
発行開始日時

10月試験： 2022年10月4日(火) 午前9時

2月試験： 2023年1月12日(木) 午前9時

必ずA4で印刷してください（モノクロ可）。

※図はイメージであり、実際のものと異なる場合があります



受験票記載内容の問い合わせについて

入試制度・志望学科（専攻）の誤りがあった場合、至急中部大学入学センターに連絡してください。
住所・氏名の誤りは試験当日監督者に申し出てください。

※コンピュータ処理上表記できない文字は、常用漢字またはカタカナを使用します。受験には差し支えありません。

例) 崎→崎、高→高 など

お問い合わせ先 中部大学入学センター事務部 入試事務課 TEL.0568-51-4715

受験票発行・操作に関するお問い合わせ

よくある質問については、以下インターネット出願ガイダンス「よくある質問」をご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中（2022年9月1日以降、2022年12月29日～2023年1月3日を除く）

○時間 午前9時～午後8時

11. 試験当日の注意

1. 持参するもの	1. 受験票 プリントアウト（A4モノクロ可）したものを持参してください。紛失又は忘れた場合、「仮受験票交付所※」に申し出て、仮受験票発行の手続きをしてください。試験室の入退室時には、受験票を携帯してください。詳細は 10 受験票 を参照してください。 ※10月試験 10号館 1Fラウンジ ※2月試験 9号館 1Fラウンジ 2. 筆記用具 HBの鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴム ※下敷き等の使用は認めません。 3. 時計 時計以外の機能がついたものの使用は認めません。 4. 昼食 感染症拡大防止のため、昼食をとる場合は持参のうえ、自席でとってください。
2. 試験室の入退室	1. 試験場は8時30分に開場します。 2. 受験者は入試前日までに本学WEBサイトで試験室を確認してください。 3. 携帯電話等の使用は認めません。試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。 4. 机に示した受験番号を確認の上、集合時間までに指定の場所に着席してください。 5. 試験開始後30分までの遅刻は認めます。ただし、そのための試験時間の延長はしません。また、30分以降の遅刻は欠席者とみなし受験できません。公共交通機関の事故等による場合は、TEL.0568-51-1111（中部大学代表番号）に連絡し指示を受けてください。 6. 試験時間中は、試験終了まで、退室を認めません。なお、試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合は、すぐに監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長はしません。
3. 試験時間中の注意	1. 試験室では、受験票を机上の番号札の横に置き、監督者の指示に従ってください。 2. 不正行為を行った者は、本学すべての試験を無効とします。 3. 解答用紙に、受験番号・氏名等を正しく記入してください。正しく記入されていない場合は、採点できないので注意してください。
4. 受験上の配慮について	病気・ケガ等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、 8 受験上の特別な配慮申請 についてを確認してください。

5. 受験できない者	1. 試験当日、37.5℃以上の発熱がある者 2. 学校保健安全法での出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し、試験当日までに治癒していない者 3. 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者またはその恐れがあるとして、自宅待機等を指示された者 ※ただし、無症状の濃厚接触者でPCR検査等の結果が陰性の場合は、別室で受験できる可能性があります。中部大学入学センターまでお問い合わせください。 上記1～3に該当する場合は、追試験の対象となる場合があります。該当者は試験当日午前9時30分までに入学センターへご連絡後、以下の書類を郵送してください。詳細は個別にお知らせします。なお、追試験についての追試験はありません。 ①追試験受験申請書（本学WEBサイトからダウンロード） ②診断書や検査結果など、受験できない事実を確認できる書類 ※3に該当し、書類が提出できない場合は、「追試験受験申請書」内、「2. 追試験申請事由」の「4. その他欄」に経緯を記入してください。
6. その他	1. 降雪等による交通機関への影響に十分注意し、遅刻しないようにしてください。 2. 災害等不測の事態が発生したことにより、入学試験の実施等に支障が生じた場合は、本学WEBサイトで周知しますので注意してください。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

9. 試験場

試験場：中部大学 〒487-8501愛知県春日井市松本町1200 TEL. 0568-51-1111（代表）

1. 試験室の詳細・集合場所は、入試の前日までに本学WEBサイトでお知らせします。
2. 受験生・付添者は、キャンパスプラザを控室として利用できます。

本学までの交通機関

1. JR中央本線「神領」駅下車

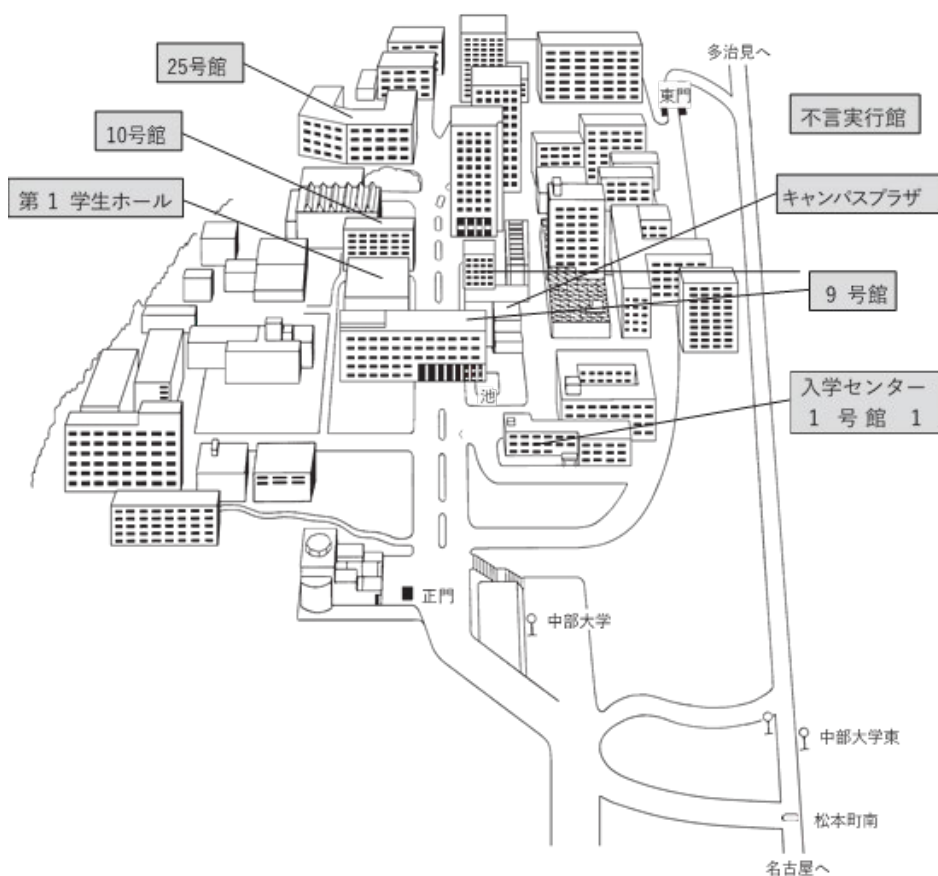
- ① 普通列車に乗車してください。快速列車は停車しないので注意してください。
- ② 神領駅北口から名鉄バス中部大学線（片道210円）を利用してください。所要時間は約10分です。

2. JR中央本線「高蔵寺」駅下車

高蔵寺駅から名鉄バス「中部大学」行をご利用ください。発着数が少ないため、ご利用の際は時刻表を十分確認してください。

3. 自家用車

大学構内の駐車場が利用できますので正門から入場してください（試験当日大学構内は一方通行となります）。例年、路上駐車や近隣店舗への駐車が多く、周辺地域の方々から苦情が寄せられます。近隣の皆様への多大な迷惑となりますので、マナーを守ってご来校いただきますようお願い申し上げます。



試験場の下見について

試験場の下見は試験前日の午後に行ってください。ただし、試験実施日には下見できませんので、連続した試験日程初日の前日午後に確認してください。なお、試験室には入れません。建物の外観確認に留めてください。

10. 合格発表

合否発表日の午前11時から「[CUhub](#)」で合否結果を発表します。「[CUhub](#)」[マイページ](#)にログインし、「[合否結果](#)」から確認してください。

合否発表日時

10月試験：2022年10月20日(木) 午前11時

2月試験：2023年2月17日(金) 午前11時

注意事項

- (1) 電話やメール等による合否の問い合わせには一切応じません。
- (2) **合否に関する通知書の送付は行いません。**合格通知書が必要な方は「[CUhub](#)」[マイページ](#)より「[入学手続](#)」に進み、ダウンロードしてください。
- (3) サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。
- (4) 「[CUhub](#)」合否結果の「誤操作」「見間違い」等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

11. 入学手続

1. 入学手続は「[CUhub](#)」の「[入学手続](#)」から行います。入学手続に関する書類等の送付はありませんので、各手続の期限にご注意ください。詳細は、本学WEB サイトに公開する[入学手続要項](#)で確認してください。
2. 入学手続期限は**締切日必着**です。期限を過ぎたものについては一切受理しません。**期限までに手続を完了しない場合、入学許可はその効力を失います。**
3. いったん納入された入学料および入学手続書類等は、返還しません。
4. **入学手続要項**の確認不足等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

入学手続期限（必着）

試 験	入学料の納入期限	書 類 の 提 出 期 限	学 費 等 の 納 入 期 限
10 月 試 験	2022年11月2日(水)	2023年3月6日(月)	2023年3月8日(水)
2 月 試 験	2023年2月24日(金)		

入学辞退者への授業料等の返還について

学費等を納入した者で入学を辞退する場合には、入学料を除く学費（授業料・施設設備費・教育充実費）、委託徴収会費等を返還します。返金額は返還事務手数料（500円）を除いた金額となります。返還手続は「[CUhub](#)」[マイページ](#)の「[入学手続](#)」から行ってください。

国の教育ローンについて

入学料、学費、教科書代、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学中に必要な資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」があります。詳しくは、「国の教育ローン」WEBサイトをご確認ください。

12. 2023年度入学者学費等

学費等は春学期・秋学期の2回に分けて納入します。なお、保険料は改定される場合があります。詳しくは入学手続要項で確認してください。

(単位：円)

	工学部 応用生物学部 理工学部		経営情報学部		国際関係学部 人文学部		現代教育学部	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入 学 料	280,000		280,000		280,000		280,000	
授 業 料	465,000	465,000	365,000	365,000	385,000	385,000	360,000	360,000
施 設 設 備 費	130,000	130,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
教 育 充 実 費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
※ 後 援 会 費	50,000		50,000		50,000		50,000	
※ 学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 料	3,300		3,300		3,300		3,300	
※ 学 生 教 育 研 究 賠 償 責 任 保 険 料							1,360	
計	1,003,300	670,000	883,300	550,000	903,300	570,000	879,660	545,000
1年次	1,673,300		1,433,300		1,473,300		1,424,660	
2年次	1,360,000		1,120,000		1,160,000		1,150,000	
3年次	1,380,000 ◇1,440,000		1,140,000		1,180,000		1,170,000	
4年次	1,400,000		1,160,000		1,200,000		1,190,000	

(単位：円)

	生命医科学科		保健看護学科		理学療法学科 作業療法学科		臨床工学科		スポーツ保健医療学科	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入 学 料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授 業 料	495,000	495,000	480,000	480,000	480,000	480,000	465,000	465,000	440,000	440,000
施 設 設 備 費	175,000	175,000	140,000	140,000	140,000	140,000	130,000	130,000	130,000	130,000
教 育 充 実 費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
修 学 諸 費	40,000	40,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000		
※ 後 援 会 費	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
※ 学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 料	3,370		3,300		3,300 ◆3,370		3,370		3,300	
※ 学 生 教 育 研 究 賠 償 責 任 保 険 料	2,000		2,000		2,000		2,000			
計	1,120,370	785,000	1,045,300	710,000	1,045,300 ◆1,045,370	710,000	1,020,370	685,000	978,300	645,000
1年次	1,905,370		1,755,300		1,755,300 ◆1,755,370		1,705,370		1,623,300	
2年次	1,710,000		1,560,000		1,510,000		1,460,000		1,410,000	
3年次	1,730,000		1,580,000		1,530,000		1,480,000		1,430,000	
4年次	1,750,000		1,600,000		1,600,000		1,550,000		1,450,000	

※は委託徴収会費等

◇は応用生物学部食品栄養科学科管理栄養科学専攻

◆は作業療法学科

入学料・後援会費・学生教育研究災害傷害保険料・ 医学生教育研究賠償責任保険料・学生教育研究賠償責任保険料	入学時のみ
授業料・施設設備費	2年目以降年額各10,000円増額
教育充実費	2年目以降同額
修学諸費	2年目以降、生命医科学科は年額200,000円、保健看護学科は年額150,000円、 理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科は年額100,000円（ただし4年目年額150,000円） スポーツ保健医療学科は年額100,000円、現代教育学部は年額40,000円 3年目のみ、応用生物学部食品栄養科学科管理栄養科学専攻は年額60,000円

13. アドミッション・ポリシー

各学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは本学ホームページ上で公表しています。

中部大学情報公表>学びでみる中部大学>学部・学科の情報

https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/



特別選抜入試では、下記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、小テスト、小論文および面接等によって選抜します。

工学部 機械工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 機械工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、機械工学技術領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・数学に関して、図形と方程式、指数関数、対数関数、三角関数、ベクトル、微分法・積分法を利活用できること。
- ・物理に関して、平面内の運動と剛体のつり合い、運動量、円運動と単振動を利活用できること。

工学部 都市建設工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 都市建設工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、地域のデザインを通して地球環境の保全、人間社会の持続可能な発展、災害対策に関わる領域で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・数学、物理、英語、国語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・数学では、特に三角関数、指数・対数関数、微分、積分など。
- ・物理では、特に力のつりあい、物体の運動とエネルギーなど。
- ・英語では、文法、読解、会話など。

- ・国語では、文章作成、文章読解など。

工学部 建築学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 建築学とともに人間・社会・芸術に強い関心と高い学習意欲をもち、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・数学、理科、国語、英語の教科書を再度復習し総合力を高めること。
- ・社会、芸術、保健体育、家庭、情報各教科の学習意義を改めて理解するとともに、幅広く興味・関心を持つ習慣を身につけること。

工学部 応用化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 化学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、化学計測、無機・有機およびナノ複合材料、エネルギー、環境などの領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・化学、数学、英語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・化学では特に原子の構造、化学結合、物質質量、化学反応式、濃度、酸塩基、酸化還元など。
- ・数学では特に指数・対数関数、微分、積分など。

工学部 情報工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) コンピュータの仕組みや応用に強い関心と高い学習意欲をもち、高度情報化社会において情報科学、ソフトウェア、情報通信、ハードウェアに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・数学、物理、英語の教科書を復習し理解を深めること。
- ・数学では三角関数、指数・対数関数、微分、積分、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では電気と磁気、物体の運動とエネルギーなど。
- ・日本語（読み書き）がきちんとできること。
- ・ITパスポート試験に挑戦してみることが望ましい。

工学部 電気電子システム工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」等の基礎学力を有している。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) 電気・電子工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、電力・設備、電機・計測制御、材料・デバイス、通信・システムに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・数学については、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分、複素数、ベクトル等を理解して利用できることが望ましい。
- ・理科のうち、特に物理の力学（物体の運動、力のつり合い、運動量、単振動、エネルギーなど）および電磁気（静電気力、電界、電気力線、電位、コンデンサ、静電エネルギー、電流、磁場、電磁力、電磁誘導など）等を理解して利用できることが望ましい。

経営情報学部 経営総合学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 経営学と情報学を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) 企業経営と情報に強い関心と高い学習意欲をもち、経営者や会社のキーパーソンとして活躍しようとする意欲がある。または、情報システムの知識・技術に関わる領域や会計専門職や会計の知識に関わる領域を通して社

会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

高等学校の授業科目のうち、特に英語、数学、国語、地歴・公民の学習内容を十分に習得していることが求められる。これらは全て大学における学修の基礎となるものである。

また、経営・経済分野については、新聞やニュースに関心を持ち、知識だけでなく、自分の意見を言えるようにしておくことが望ましい。

国際関係学部 国際学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 国際関係や他文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 世界各国・地域の人々の生活や社会制度、英語や中国語などの外国語、国際関係に強い関心と世界の動きを多面的に理解する学習意欲をもち、積極的に他者とコミュニケーションを図り、多文化共生社会や国際政治・国際経済・国際協力に関わる分野で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・国語・社会・英語についての基礎学力を有し、政治経済や倫理社会などにも意欲をもって取り組んでおくことが望ましい。
- ・外国語の運用能力（実用英語技能検定準2級程度、中国語検定4級、漢語水平考試(HSK)3級、ハングル検定4級相当など）を備え、さらに高めることに意欲的であることが望ましい。

人文学部 日本語日本文学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、日本の言語や文化に関する深い知識と理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・日本語・日本文学について学ぶための基礎学力として、高等学校における「国語総合」「国語表現」「現代文」の学習が強く望まれる。
- ・日本文化について学ぶための基礎学力として、高等学校における「日本史」「世界史」の学習が強く望まれる。

- ・知識の応用力・論理的思考力を身につけるために、読書を習慣化することが望まれる。

人文学部 英語英米文化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、本格的な英語運用能力と異文化理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・高等学校までの英語学習をしっかりと理解していることが望まれる。
- ・英語だけでなく、他教科においても、幅広い基礎学力を有していることが望まれる。
- ・英語を積極的に使おうとする意欲があることが望まれる。
- ・英語圏の文化に対する強い関心があることが望まれる。
- ・円滑で、より豊かな対人コミュニケーション能力を身につけようという意欲や向上心があることが望まれる。
- ・大学における英語の発展的学習の基礎となる英語運用能力（実用英語技能検定（英検）準2級以上あるいは同等の英語力）を備えていることが望まれる。

人文学部 コミュニケーション学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、高度なコミュニケーション力と情報文化デザイン力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・メディアの社会への影響を考えるために必要となる幅広い基礎学力を身につけておくことが望まれる。
- ・筋道の立った文章を書くための文章力を身につけておくことが望まれる。
- ・他者に自分の考えを表明できるコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれる。
- ・社会の中の出来事に関心をもつ姿勢を身につけておくことが望まれる。
- ・インターネット上の情報の真偽について考える習慣を身につけておくことが望まれる。

人文学部 心理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 人の「こころ」をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 人の「こころ」をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、「こころ」に関する問題を論理的に解明し、表現する力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・調査や実験等で得られたデータを統計的に分析するための数学的能力、論理的能力を身につけていることが望まれる。
- ・結果を読み取り、理解し、筋道たてて記述するための国語力を身につけていることが望まれる。
- ・海外の文献を読むための英語力を身につけていることが望まれる。

人文学部 歴史地理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 歴史や地理をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 歴史や地理をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、歴史学・地理学の専門知識と研究方法を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・国語、英語、社会の教科書を復習し、内容の理解を深めておくことが望まれる。
- ・国語では、語彙を増やし、古典・漢文も復習することが望まれる。
- ・英語では、基本的な文法を復習・習得し、単語・熟語の語彙を増やしておくことが望まれる。
- ・社会では、特に地理あるいは歴史の教科書の基本知識を十分に理解しておくことが必要である。
- ・地理あるいは歴史について自分の興味ある内容を積極的に説明できることが望まれる。

応用生物学部 応用生物化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジーに強い関心と高い学習意欲をもち、医療や医薬品・食品などのバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・化学、生物、数学の教科書を再度復習し、理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・数学では特に指数・対数関数、確率統計。
- ・国語の学習によって、筋道の通った文章が書けることが望まれる。

応用生物学部 環境生物科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した「環境生物学（生態系における個体の生物学）」に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した環境生物学に強い関心と高い学習意欲をもち、環境評価や環境問題の解決に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・化学について、教科書レベルの基礎知識を習得しておく必要がある。
- ・環境、生物に関連する自然科学分野の文章読解力、作文能力を身につけておく必要がある。
- ・PCを用いたレポート作成法を取得しておく必要がある。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻

本学科（専攻）は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 「食」や「栄養」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

(6)「食」や「栄養」に強い関心と高い学習意欲をもち、食品科学と栄養科学に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・化学、生物、英語の教科書を再度復習し理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・生物では特に細胞と人体組織、生体構成成分、代謝、遺伝子とDNA、遺伝子発現。
- ・国語では論理的な文章を書けるようにすることが望まれる。
- ・英語についても基礎を復習し理解を深める。

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

本学科(専攻)は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3)「食」と「健康」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

(6)「食」と「健康」に強い関心と高い学習意欲をもち、国家資格としての管理栄養士に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・管理栄養士の職能について十分理解しておくことが必要。
- ・化学基礎、生物基礎の教科書を再度復習し理解を深めておくことが必要。

生命健康科学部 生命医科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 病気予防や健康の維持増進の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

(6) 病気予防や健康の維持増進に対して強い関心と病気や健康不安の仕組みに学習意欲をもち、臨床検査、または薬物・資材・機器・医療技術の開発・研究および販売等を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・生物、化学、物理の教科書を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・生物では特に細胞、代謝、遺伝子、体内環境などの理解が必要となる。
- ・化学では溶液の濃度、物理では原子、力学、電磁気などの理解が特に必要となる。

生命健康科学部 保健看護学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康に強い関心と高い学習意欲をもち、看護の専門職として他職種と協働し社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・人体のしくみを理解するうえで必要な生物・化学の基礎を身につけることが望まれる。
- ・人の健康と生活に関わる保健・家庭等の科目の内容の理解も必要となる。
- ・筋道の立った文章表現ができる国語力の獲得が望まれる。
- ・看護実践をするうえで必要となる数学の基礎の習得も望まれる。
- ・対象・場面に即した言葉遣いと基本的な礼儀・マナーの習得が望まれる。

生命健康科学部 理学療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 医学・生命科学、理学療法学を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 医学・生命科学、理学療法学に強い関心と高い学習意欲をもち、理学療法に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・高等学校の教育内容（国語、生物・化学・物理の基礎、数学の基礎など）を幅広く理解し、日常的な自己学習の習慣を身に付けることが望まれる。
- ・自分の考えを伝えるための表現力・他者とのコミュニケーションをとる積極性が望まれる。

生命健康科学部 作業療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションを学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションに強い関心と高い学習意欲をもち、作業療法士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・国語、生物、数学・物理、家庭、保健体育の以下の内容を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・国語では、論理的な筋道の立った文章が書けることが必要となる。
- ・生物では、人のからだの仕組みや構造について学んでいることが必要となる。
- ・数学・物理では、三角関数や物体の運動とエネルギーを学んでいることが必要である。
- ・家庭では、自立した生活者に必要な衣食住や消費生活・環境に関する知識・技能、親の役割と子育て支援に関する知識・技能、高齢者の尊厳と介護、生活支援に関する知識・技能を理解していることが必要である。
- ・保健体育では、健康の保持増進や疾病予防に必要な知識・技能を理解していることが必要となる。

生命健康科学部 臨床工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学と医学が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) 工学と医学が重なる領域に強い関心と高い学習意欲をもち、臨床工学技士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・高校で勉強する数学、物理（物理基礎）、化学（化学基礎）、生物（生物基礎）をきちんと理解していることが望まれる。
- ・臨床工学技士の役割や職能などについて自ら調べ、理解することが望まれる。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) スポーツや保健医療（医学）が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) スポーツや保健医療（医学）に強い関心と高い学習意欲をもち、スポーツ医学を国民の生活の質（QOL）の向上に役立てる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

生物（生物基礎）、数学、国語、保健分野の知識、さらに、主語と述語の関係が明確な筋道の通った文章が書けることが望まれる。

現代教育学部 幼児教育学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 乳幼児の保育・教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) 乳幼児の保育・教育に強い関心と高い学習意欲をもち、幼稚園教諭・保育士・保育教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

- ・コミュニケーション力や論理的な思考力、表現力を発揮するために、国語の基礎的内容を習得していることが望まれる。
- ・子どもの表現活動を学ぶために、音楽・美術・保健体育に関する基礎的な知識や技能を有していることが望まれる。

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻

本学科（専攻）は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 児童生徒の教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

- (6) 児童生徒の教育に強い関心と高い学習意欲をもち、小学校教諭・中学校理科教諭・特別支援学校教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

高等学校の全教科（実技教科を含む）の内容を十分理解できていることが大切である。教科書の内容を十分

に復習することが望まれる。また、日本語検定3級、数学検定3級、実用英語技能検定準2級程度の学力を有することが望まれる。実際に受検し挑戦することが望ましい。

現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻

本学科（専攻）は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 中学校教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 中学校教育に強い関心と高い学習意欲をもち、中学校国語教諭および中学校数学教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

国語志望者は、高校古典（古文・漢文）の総復習と、国語教科書「読書案内」に紹介の本を読むこと。

数学志望者は、高校数学（数Ⅰ～Ⅲ、A・B）の総復習。また、日本語検定2級、数学検定2級・準1級合格を目指した学習を進めることが望まれる。

理工学部 数理・物理サイエンス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 理学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 数学および物理学をはじめ科学技術全般に関心と高い学習意欲を持ち、数学およびデータサイエンス等の応用分野を含めた数理科学、物理学および物質科学や宇宙・地球科学等の応用分野を含めた物理科学に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲を有している。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

1. 数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
2. 数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
3. 物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
4. 化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 AIロボティクス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

(6) ロボット理工学とともに、ものづくりに強い関心と高い学習意欲をもち、機械、電気、電子、情報工学などに関わるロボット製作や工学デザイン領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

1. 数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
2. 数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
3. 物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
4. 化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 宇宙航空学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

(6) 宇宙航空学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、制御理論や流体力学、材料力学などに関わる航空機製造や宇宙に係る領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけて欲しいこと。

1. 数学、物理、英語を復習して理解を深めること。
2. 数学では数と式、統計・データの分析、二次関数、三角関数、微分・積分、指数・対数、複素数、ベクトルなど。
3. 物理では物体の運動とエネルギー、力の釣り合い、気体の状態変化、電気・磁気など。

14. 入学検定料の返還

下記「1. 入学検定料返還請求事由」に該当し、かつ下記「4. 返還請求方法」に則り請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料の返還には、請求締切以後1～2ヵ月程度かかります。

1. 入学検定料返還請求事由

1. 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
2. 出願資格を欠く者が出願した場合
3. 出願締切日後に出願した場合
4. 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

※出願書類提出後、受験を取りやめる、または試験当日欠席した場合は対象となりません。

2. 返還請求受付締切日

下記締切日までに申請してください。【必着】

10月試験：2022年9月9日(金)

2月試験：2022年12月12日(月)

3. 事務手数料

入学検定料返還事務手数料として、整理番号1件につき500円徴収します。返金額は事務手数料を除いた金額となります。

4. 返還請求方法（郵送に限ります）

下記（1）を封入し、宛先左側に「入学検定料返還申請書在中」と朱書きの上、郵送してください。

宛先：〒487-8501 春日井市松本町1200 中部大学入学センター事務部 入試事務課

（1）入学検定料返還申請書（次ページ本学指定用紙）

黒ボールペンで必要事項を記入してください。

5. 返還手続上の注意

1. 請求締切日までに必要書類が提出出来ない場合、提出書類の記載内容に不備・誤りがある場合は、請求を受理しません。なお、訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。
2. 入学検定料返還先口座の名義は、志願者本人または保護者としてください。

入学検定料返還申請書

学校法人中部大学理事長 殿

20 年 月 日

私は、入学検定料の返還を申請いたします。

1. 志願者情報

フリガナ				性別 (○をつける)	男 ・ 女		
氏 名							
整理番号	出願確認票記載の「整理番号」を記入してください。						
生年月日	西暦	年	月	日			
住 所	(〒 -)						
	都道府県		市 郡				
電話番号	〈自宅〉		-	-	〈携帯〉	-	-

2. 返還請求事由

返還請求事由	次の1～4のうち、該当する番号に○をつけてください。
	1.入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
	2.出願資格を欠くものが出願した場合
	3.出願締切日後に出願した場合
	4.納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合
	5.その他

3. 入学検定料返還先

返還金 振込先	金融機関名	銀行			支店名	支店			支店名 (カタカナ)	
	金融機関 コード				支店コード					
	預金種別	普通			口座番号					
	フリガナ									志願者との続柄
	口座名義人									

※口座名義は、志願者本人または父母としてください。

※信託銀行を除く銀行を指定してください。ゆうちょ銀行も指定できます。

※ゆうちょ銀行を指定する場合は、他行からの振込用の支店及び口座番号を記入してください。

4. 郵送先

〒487-8501 春日井市松本町1200

中部大学 入学センター事務部 入試事務課

TEL.0568-51-4715

追試験受験申請書

20 年 月 日

学校法人中部大学理事長 殿

私は、下記の理由により受験できなかったため、追試験を申請いたします。

1. 志願者情報

受験番号		試験日	
入試種別			
フリガナ 氏 名			
生年月日	西暦	年	月 日
住 所	(〒 -)		
	都道府県 市郡		
電話番号	(自宅)	(携帯)	
	-	-	-

2. 追試験申請事由

申請事由	次の1～3のうち、該当する番号に○をつけてください。
	1. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し治癒していないため
	2. 試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされたため
	3. 発熱・咳等の症状により、当日受験を見送ったため
	4. その他 ()

※証明書類の写しを必ず添付してください。

証明書類	1. 診断書（病名、加療期間を記載のこと）
	2. その他 ()



中部大学

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 番地 TEL 0120-873941

ホームページ <https://www.chubu.ac.jp/> E-mail koho@office.chubu.ac.jp

中部大学は、よりよい環境対策をめざし、エコキャンパスとして、大学全体で取り組んでいます。